

商品名 型式
液面レベルフロートスイッチ TFS型

説明

TDTC 型デジタル温度調節器用のフロートスイッチ

特長

1. 液面が設定値よりも下がった時にヒーターを切るフロートスイッチです。
2. デジタル温度調節器 TDTC シリーズと一緒にご利用ください。
3. 取付フランジがセットされていますので、既存の液槽に簡単に装着でき、ヒーターの空焚きを未然に防ぐことができます。(火災や発火などの危険からお守りします。)
4. ヒーター温度過昇防止用ヒューズとの併用で2重の安全対策をお勧め致します。

仕様

1. 本体材質 : 各種選択できます。種類を参照ください。
2. リード線長さ: ビニールリード2m

種類

表1 型番表

型番	寸法	材質 シャフト/フロート/フランジ/継手	使用温度
○ TFS-PP	シャフト長 350mm ビニールリード 2m	PP/発泡 PP/PP/PFA	-10~100°C
○ TFS-316		SUS316/316/304/304	-10~100°C
△ TFS-PTFE		PFA/PTFE/PVDF/PFA	-10~100°C

○は仕掛品につき短納期品、△は受注製作品です。

図面

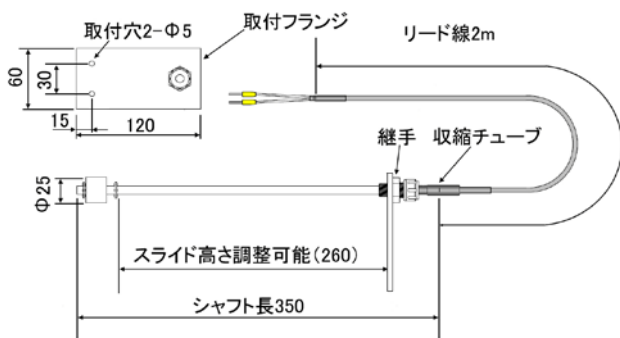


図1 液面レベルフロートスイッチ

注意

1. 取付フランジは必ずボルト等にて脱落しないようしっかりと固定してください。脱落すると正常に作動せずヒーター空焚き、火災の原因となります。
2. シャフト部をスライドさせ最低水位に合わせた後は締付ナットをしっかりシャフト部を固定してください。シャフト部が固定されていないとフロート部が下がり正常に作動せずヒーター空焚き、火災の原因になります。
3. シャフト部上端は防滴構造ですが、薬液がかかったり液につけたりしないでください。リード線の腐食、センサーの断線や故障が生じる恐れがあります。
4. リード線の途中切断、延長はしないでください。センサーの誤作動が起こる恐れがあります。
5. 毎日、使用前にフロート部の動作確認(点検)を行ってからご使用ください。
6. 酸性薬液には樹脂製、アルカリ性薬液にはステンレス製をご使用ください。
7. 濃硝酸、クロム酸混液など強酸化性薬品、含塩素系溶剤、芳香族炭化水素には、ガス浸透、または浸食等が起ります。

商品名 型式
温度過昇防止用ヒューズ THE型

説明

TDTC 型デジタル温度調節器用のヒーター温度過昇防止用ヒューズ

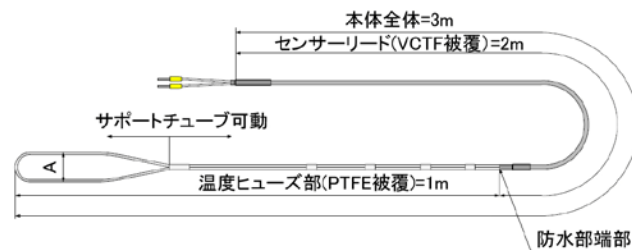
特長

1. TDTC 型デジタル温度調節器のオプション機能を利用される際に必要となる、温度過昇防止ヒューズです。
2. 液体加熱用ヒーター各種に巻きつけるだけでヒーターの温度過昇を未然に防ぎ火災や発火などの危険からお守りします。
3. 液面レベルフロートスイッチとの併用で2重の安全対策をお勧め致します。

仕様

1. フッ素樹脂 (PTFE) のチューブ内に温度ヒューズを挿入してあります。
2. 温度ヒューズの熱断温度は、200°C前後で感知します。
3. 温度ヒューズには、DC12V10mA の電流が通電されます。
4. 寸法: ヒューズ部 (PTFE) ※1m ビニールリード ※2m
 ※長さ変更可能です。

図面



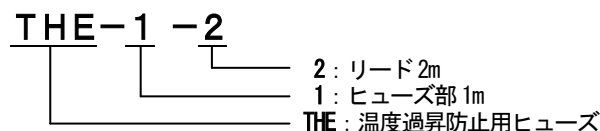
サポートチューブを移動させてA部のリング径を調節してください

図1 温度過昇防止用ヒューズ

使用方法

1. ストレート投込みヒーターの場合
 ヒューズの先端部分をまずリング状にしてください。リングを2重にしてヒーターを通し、発熱部の最上部の所でリングを小さくし、ヒーター管全体にリングが軽く接触するようにサポートチューブで軽く絞ります。
2. L型、潜水ヒーターの場合
 ヒューズの先端部分をまずリング状にしてください。リングを2重にしてヒーターを通し、発熱部の所でリングを小さくし、ヒーター管全体にリングが軽く接触する様にサポートチューブで軽く絞ります。
 ※L型の首下部分は発熱しませんので、取り付けの際は必ずL型の底辺部分に取り付けてください。

型番説明



注意

1. 防水部はヒューズ部のみです。絶対に非防水部を液中にいれしないでください。また、防水部端部は高湿度の雰囲気にはさらさないでください。
2. ヒューズが断線した場合は、修理できません。新しいものと交換してください。
3. 温度ヒューズ部を直角に折り曲げたりきつく締め込んだりしないでください。ヒューズの取付位置を十分に検討してから設置してください。